

# ロータリー財団委員長会議 報告

ロータリー財団委員会 委員長

**溝畑正信**

(東大阪東RC)

日時：2014年11月1日(土) 13:30~15:30

場所：葉業年金会館 6F

ロータリー財団委員長会議が泉博朗G、大谷 透地区R財団部門顧問／地区研修委員会サブリーダー／PG、岡部泰鑑 地区財団監査委員会委員長／PG、AG、AGE、地区代表幹事、財団部門地区委員の皆様など多数のご参加を頂き開催されました。

## 泉 博朗 G

本日の会議の目的は、「クラブ財団委員長に財団の仕組みを学んで頂くこと。本年度で2年目になる“Future Vision Plan = FVP”の地区補助金は、数的には全クラブをカバーした形であり、従来は財団国際親善奨学生5~10名が海外へ派遣されていたが、現在は地区補助金として活用されていて、活発に活動して頂いている。今日は財団の仕組みをよくご理解頂いて、皆様に気持ち良く寄付して頂きたい。」と挨拶されました。

## 財団部門顧問 大谷 透 PG

「泉ガバナー年度が始まって4か月、財団月間では、Doing good in the world、良いことをするということが、財団に寄付をすることと理解して頂きたい。」と挨拶されました。

## 溝畑正信ロータリー財団委員長

『財団寄付と資金モデル』というタイトルで、ロータリー財団は寄付をポリオの撲滅や、平和の推進といったロータリーの優先活動のために有効に活用されている、また、財団の補助金は、ロータリアンが貧困、識字、飢餓などの問題に持続可能な方法で取り組むことを可能とすると、そして地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和フェローシップ、財団寄付、年次基金の流れ(シェア・システム)について、また財団および地区の財務について説明し、未来の世代のためにより良い世界をつくるロータリーの活動の支援をお願いしました。

## ポリオ・プラス小委員会 木村芳樹委員長

ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画2013-2018、ロータリーとポリオ、ポリオの現状について話し、ロータリアンの一人一人の声が、ロータリアン一人一人の寄付がポリオを撲滅すると、ロータリーの最優先項目であるポリオ撲滅活動に理解と寄付の推進を要請しました。

続いてのパネル・ディスカッション『財団寄付…なぜ集めるの』では、補助金小委員会 四宮孝郎委員長のコーディネートのもとに、パネラーとして資金推進小委員会 松下和彦委員長、資金管理小委員会 片岡利雄委員長、財団委員会 宮里唯子副委員長で進行しました。

また寄付額の多いクラブから、箕面RC、大阪中央RC、大阪天満橋RCの財団委員長から寄付額を多く集める方策を話して頂きました。

ロータリー財団の寄付と認証、寄付の種類<年次基金および用途指定寄付、恒久基金>、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となること、財団への寄付増進とロータリーカードへの入会、ロータリーカード使用による効果を説明し、そして、寄付がどのように使われるかを地区補助金では、地区補助金申請要件、この用途が奨学金、災害復興、ボランティア奉仕、国際奉仕に使われる具体例、グローバル補助金では、グローバル補助金申請要件、グローバル補助金の事例について説明し、資金管理、報告書について説明しました。

最後に講評で、財団監査委員長 岡部泰鑑PGは、自転車のペダルを漕ぐのはロータリアンで、後輪は財団委員長、前輪は社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、皆さんの寄付がこのように使われる、出したお金が返ってくる、それ以上のお金が返ってくる、寄付できる喜びを是非味わっていただきたい、と話されました。

**【ポリオ症例数】**

2014年11月3日現在のポリオ症例数です。

	2014年1月1日~11月3日	2013年
アフガニスタン	18	14
パキスタン	235	93
ナイジェリア	6	53
ポリオ常在国以外		
エクアトリアル・ギニア	5	0
イラク	2	0
エチオピア	1	9
カメルーン	5	4
ケニア	0	14
ソマリア	5	197
シリア	1	35
世界合計	278	416

ポリオは1988年には世界125ヶ国で年間35万人に発症例がありました。ロータリーが先頭を切ってWHO、ユニセフ、米国疾病対策センター、ゲイツ

財団と連携し、各国政府機関の協力による撲滅活動の結果、パキスタン、ナイジェリア、アフガニスタンの常在国と常在国以外の発症合計が278件と激的に低下しています。

今、2018年のポリオ撲滅宣言への諸条件が整っています。「あと少し」です。不足する資金を供給してポリオ撲滅宣言という偉大なる歴史的快挙に立ち会い、世界中の人々と喜びを分かち合いたいものです。

**【ロータリー財団が最高評価】**

米国の非営利団体の独立系格付け機関として最も信頼されている組織「Charity Navigator」より7年間連続して最高評価の四つ星 (EXCEPTIONAL (最優秀)) を受けました。

例年連続して最高評価を受けている米国の慈善団体は僅か3%のみで、ロータリー財団の財務管理能力と説明責任、および透明性が高く評価されています。